

2025 年 10 月
No.484 号

第33回元気が出る森松展

NEOプラスチック

時代を超えても変わらないもの

2025.10.16-17

(木) (金)

10:00~17:00

森松本社ビル5F

皆様のご来場、お待ちしております。

www.morimatsu.com

森松 HP



森松展、間もなく開催です

森 直樹 (社長)



10月16日～17日と開催の「元気が出る森松展」、皆様のご支持のお陰で第33回を迎えることが出来ました。今回のテーマは「NEOプラスチック」～時代を超えても変わらないもの～です。プラスチックを通じて、皆様と新たな付加価値を創っていく。そのようなきっかけとなる展示会にすべく展示会幹事および従業員一同で準備を進めております、皆様のご来場をお待ちしております。付加価値といえばつい先日、日本のGDP(国内総生産)がインドに抜かれ昨年の4位から5位となったという話を聞きました。1位アメリカ、2位中国、3位はドイツです。アメリカ、中国、インドについては人口からして労働力がそれぞれ日本の何倍にもなるため、その結果も納得ですが問題はドイツ。ドイツの規模を考えると、人口は日本の70%、年間労働時間は日本の80%です。(日本が年間1,600時間に対してドイツ1,340時間)この2つの数字だけでも、ドイツは日本の半分程度の労働力しか無いにもかかわらず、 $(1 \times 0.7 \times 0.8 = 0.56)$ 日本以上の付加価値を生み出していることになります。またドイツは高い有給消化率や、日曜は商店の殆どが休みになるという働き方にも注目されますが、製造業においては高い労働生産性と、価格競争に巻き込まれない、付加価値の高い製品を作ることシフトしたということがこのGDPの要因です。またこの国の教育制度、地域性もその転換に成功した大きな要因でありますので日本がそれを真似ることは容易ではないですが、効率を追求した結果このような高付加価値の戦略になるということは製造業に関わる者として大いに見習うべきことです。我々が提供できる、また今後提供できる高付加価値とは?この問いの答えを追求していきます。

YAMATO String Quartet

村田 恒夫（総務・経理）



YAMATO String Quartet：メンバーはヴァイオリンの石田泰尚、執行恒宏、ヴィオラの榎戸崇浩、チェロの阪田宏彰【曲目】ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第1番・第7番《主催：宗次ホール》のコンサートへ妻と一緒にに行ってきました。YAMATO.S.Q は、1994年に結成。近年は「ピンクパンサー」「ひまわり」などの映画音楽の他に、キング・クリムゾンやレッド・ツェッペリンなどのロックまで様々なジャンルを演奏しています。私がYAMATO.S.Qに興味を持ったのは、YAMATO.S.Qが演奏しているクリムゾン・キングの宮殿YouTube動画(50年前《高校時代》に聞いていたロックバンドの名曲を弦楽四重奏で演奏している動画)を見たのがきっかけです。今回、名古屋でコンサートがあるのを知った時にはチケットが完売で諦めていたのですが、妻の所属しているコーラスグループ繋がり、妻の恩師の息子(YAMATO.S.Qの榎戸崇浩)さんが予備チケットを2枚用意してくれました(感謝!!)。公演会場の宗次ホールは、カレーハウス CoCo 壱番屋創業者の宗次徳二さんが設立。宗次ホールは、座席数が310席で小さなホールですが、どの座席からでも舞台が見やすく設計されています。当日、宗次ホールに入場すると入口付近で宗次徳二さんが来場者一人一人に挨拶をしていました。座席は前から5列目の真ん中の席。開演すると、黒ずくめの4人が現れ、挨拶もなくいきなり演奏が始まりました。私自身、ベートーヴェンの曲を知っているわけではないですが、優しい音色に気持ちよくコンサートを楽しむことが出来ました。アンコール曲がクィーンのボヘミアンラプソディー、ビートルズのイエスタデイとヘイジュードでした。YouTubeで見えていたクリムゾン・キングの宮殿の演奏がなかったのは残念でしたが、弦楽四重奏によるクィーン、ビートルズの曲も素晴らしい演奏でした。初参戦のYAMATO String Quartetのコンサートでしたが、弦楽四重奏の世界を十分に楽しむことが出来ました。

昭和生まれ平成育ち

清水 亮太（企画営業部）



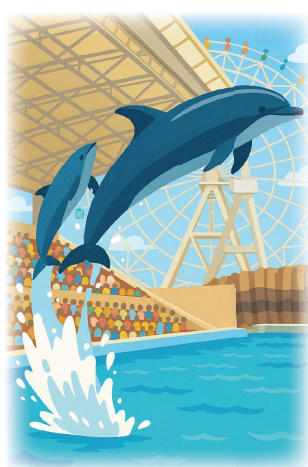
今年2025年は昭和元年(1926年)から数えて「昭和100年」という節目の年です。戦争から戦後の復興、高度経済成長、バブル経済など昭和は激動の時代でした。現在では国民の約7割が昭和生まれ、約3割が平成以降の生まれとなり、昭和を知らない世代も増えています。最近ではZ世代を中心に昭和回顧ブームが巻き起こっておりネオ昭和と言われています。各企業もブームを受けてタイガー魔法瓶社から創立100周年記念で花柄家電の「レトロ柄復刻シリーズ」や、石塚硝子社の食器ブランド「アデリアレトロ」、家電メーカーから「ラジカセ」が新発売されるなど活況を呈しています。昭和のデザインには、デジタル全盛の現代では見られないアナログ特有の温もりがあります。カラフルで個性的なデザインが多く見られ、それが今なお「懐



かしくも新しい」として支持されています。このようなデザインは、シンプルでありながらどこか心地よさを感じさせるのが魅力です。今年4月末、名古屋市中区の東別院と西別院エリアで年2回開催される、日本最大級の蚤の市「NAGOYA ANTIQUE MARKET」に行ってきました。国内外から集まったアンティーク・ビンテージ・キッチンカー・古着・レトロ雑貨・植物などなど多彩な商品が並び、二日間で1万人以上が訪れた人気のイベントです。さまざまな世代が自分だけのお気に入りの逸品を探しにきており、その注目度の高さに驚き、同時にブームや流れは回り回っているのだと実感した一日となりました。



今年のお盆休みには、久方ぶりに名古屋港水族館に遊びに行きました。昔行った時の記憶は全くといっていいほど無いのですが、遠方の水族館好きの友人から「愛知県に住んでて一回しか行かないのはもったいない」とのことで、久しぶりに足を運んだ今回は新鮮な驚きの連続でした。今まで知らなかったのですが、名古屋港水族館は規模と内容において日本国内でもかなり上位の水族館とのことで、まず北館に入館してすぐシャチとイルカの大きな水槽エリアがあるのですが、水族館好きに言わせると「コース料理でいきなりメインディッシュが出てくるようなもの」だそうです。北館2階に上がると模型や骨格標本が展示しており、あんなに愛らしいクジラやシャチも骨になるとさながら恐竜のような迫力がありよかったです。少し進むとショーをする水槽を下側が見える休憩エリアがあり、猛暑だったため空調の



効いた部屋でゆっくりショーの裏側を見ることができたので1口で2度美味しい気分になりました。南館に進むと世界の海再現コーナーが続き、大勢のペンギンに癒やされたり楽しいのですが個人的に一押しエリアがクラゲ専用エリアの「くらげなごりうむ」です。ライトにあてられたクラゲたちが妖しく光り幻想的な空間が広がっており、釣りに行った際に水面で見かけるポリ袋のようなクラゲと同じ生き物とは思えない美しさです。今回、館内を回る際に何度「おお〜」と驚きの声をあげたことか。それくらい大人になってから来ても十二分に楽しめるレジャー施設です。忘れがちですが、愛知県は名古屋港水族館に限らずレジャー施設が多いため、子供の頃行ったきりの地元の名所巡りをするのも面白いかなと思いました。

房総半島一筆書き

松井 宣和（製造部）



連休を利用して千葉県へ観光に行きました。千葉県は今まで日本中央競馬の中山競馬場へ何回か行ったことしかなく、友達との間でも「千葉には競馬場のほかに何がある?」と以前から話していました。名所を調べてみると、【海ほたる】【ZOZO マリンスタジアム】【ディズニーランド】名物は海鮮料理。今回は房総半島巡りへ出掛けることになりました。房総半島をできる限り地図を頼りに海沿いを一筆書きで観光巡りの旅へ。午後11時頃名古屋を出発し、東名高速を使い最初の目的地千葉県海ほたるへ。渋滞もなく午前4時ごろ到着。もうすぐ夜明け。頭上は晴天模様で、東の空は前日の低気圧の影響で日の出を拝むのを期待できなさそうなのであきらめ先に進むことに。車に乗り込み行先道路標識を見たら来た方向へUターンが出来そう。一方通行だと思い込んでいました。内房周りで明治百年記念展望台へ。東京湾の向こうに朝焼けの富士山がうっすらと見える。早朝5時に亀岩の洞窟へ。実際に見てみるとかなり大きかった。次に勝浦漁港朝市へ。午前8時前に到着。朝市なのに人の姿がない。場所はどこ? 周り探索する駐車場に車が全然止まっていない! 調べたら定休日でした。(残念…) 次に屏風ヶ浦へ。日本のドーバー海峡と言われるところで、10キロほど断崖絶壁がつづき中間地点の降り口がわからず通り過ぎてしまう。中間地点は絶壁で、高さが40mほどだが両端からだが高さが感じられずにイマイチ迫力に欠ける。最後に行けそうだったので、茨木県の牛久大仏へ。超デカイ大仏の中にエレベーターがあり、なんと高さ120m! 行ったところが多く書ききれないが、今回の旅で牛久大仏が一番印象に残った。総走行距離1300キロの旅。

2026年 モーニンググループ年間カレンダー

休業日

※都合により変更する場合があります。

2026年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026年2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2026年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2026年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2026年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2026年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2026年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2026年8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026年10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2026年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

プラスチックゴミ

鬼塚 湊（森松産業）



多くのゴミの中でもプラスチックゴミ問題が注目される理由は、プラスチックが自然に分解されにくいという特徴にあります。プラスチックは生ゴミなどと違って、自然に分解されるまでに数十年から数百年という長い時間を要します。そのため、長期にわたって自然界に残り続け、さまざまな問題を引き起こすことが懸念されているのです。プラスチックが環境に与える3つの影響は、【動物の生息環境の減少海洋生物の誤飲による被害】【焼却時に有害物質が発生する】【化石燃料の枯渇】これらに対し一刻も早い解決が求められるプラスチックゴミ問題で一体どのような対策が行われているのか調べてみました。そこで見つけたのが、リデュースやリユース、リサイクルと言う物でした。リデュースとは、ゴミを減らすことそのものや、ゴミの減量につながる取り組みのことです。身近な例としては、買い物にマイバッグを持参してレジ袋を使わないようにすること、必要以上の物は買わないことなど挙げられます。その他、企業が商品を販売する際に簡易包装をしたり、生産する際の原材料を節約したりすることもリデュースに該当します。一方リユースとは、使い終わったモノを捨てずに繰り返し使うことです。具体的には、使い終わった容器を洗って繰り返し使ったり、フリーマーケットなどで不要になったものを売ったりすることなどが挙げられます。さらに、リデュースやリユースに加えて、プラスチックゴミのリサイクルも重要です。リサイクルとは、不要になったものを一旦資源に戻して再利用することを指します。たとえば、ペットボトルをリサイクルして衣類や靴などの原料にする取り組みなどが一例です。さらに、従来のような化石燃料に由来するプラスチックに代えて、新たな素材でできたプラスチックの開発も進められています。その一つが「生分解性プラスチック」。通常のプラスチックと同じように使うことができますが、使用後は微生物のはたらきによって分解され自然に還ることが特徴です。これらの対策を少しでも心がけていきたいと調べている上で思いました。